

# アートとサーカス の出会い

## フランスサーカスの再生と育成システム

# 変遷

アートと出会い、サーカスはどうのような進化を遂げて行ったのか。いまや世代を超えて世界中の人々を魅了する「現代サーカス」。今回はその発祥の地フランスでの事例にふれながらこれからのアートマネジメントの可能性について考えていきます。

## 北海道 アートマネジメント フォーラム 2017

～フランスサーカスの再生と育成システム～

日時：2017年9月2日(土) 15:00～17:00

会場：まなみーる岩見沢市民会館・文化センター 多目的室  
岩見沢市9条西4丁目1-1

主催：国立大学法人北海道教育大学岩見沢校

共催：日本アートマネジメント学会北海道部会

助成：平成29年度文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業

後援：北海道空知振興推進局、岩見沢市

協力／一般社団法人瀬戸内サーカスファクトリー、NPO法人はまなすアート&ミュージックプロダクション、一般社団法人岩見沢市観光協会



要事前申込

入場無料

※懇親会は会費制

# ヌーヴォーシルクから見えてくるアートマネジメントの可能性。

芸術・スポーツとビジネスを融合する学科(芸術・スポーツ文化学科)「芸術・スポーツビジネス専攻」を4年前に開設した北海道教育大学岩見沢校主催により、アートと地域をつなぐセミナー+公演形式のプロジェクト「空知遊覧2017」が、7月～8月に空知を舞台に展開されています。

フランスにはサーカス学校が200もあります。古い大衆芸能として一時は廃れてしまったサーカスが、アートと出会うことにより再生しています。これらは「ヌーヴォーシルク(現代サーカス)」と呼ばれています。

「空知遊覧2017」の成果を受けて、日本にヌーヴォーシルクを紹介したパイオニアの一人、田中未知子氏(瀬戸内サーカスファクトリー代表)をコーディネータとして、ワインで有名なフランス、シャンパーニュ地方の著名なパフォーマーであるベルナル・カンタル氏(俳優、馬上アクロバット)、ステファン・ドゥルアー氏(空中ブランコ乗り、アクロバット)の出演による、「アートマネジメントフォーラム2017～フランスのサーカスの再生と育成システム～」を開催します。皆様の参加を、心よりお待ちしております。

## ■ プログラム(敬称略)

ご挨拶 15:00-15:10

主催者代表 宇田川 耕一

(北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツビジネス専攻 専攻長・教授  
/日本アートマネジメント学会北海道部会会長)

第1部 15:10-15:40

### 「ヌーヴォーシルクとは何か」

田中 未知子(一般社団法人瀬戸内サーカスファクトリー代表)

休憩 15:40-15:50

第2部 15:50-17:00

パネル・ディスカッション(通訳付)

### 「フランスサーカスの再生と育成システム」

パネリスト: ベルナル・カンタル(俳優、馬上アクロバット)

ステファン・ドゥルアー(空中ブランコ乗り、アクロバット)

田中 未知子(瀬戸内サーカスファクトリー代表)

モデレーター: 柴田 尚(北海道教育大学岩見沢校教授)

\*プログラム内容はやむを得ない事情により予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。

## 懇親会 (パネリスト参加予定) 18:00-20:00

会場:ファームレストラン「大地のテラス」  
岩見沢市栗沢町上幌2203

会費:5,000円(税込) 当日フォーラム会場でのお支払いとなります。  
懇親会はシュラスコ食べ放題・ビュッフェ形式・アルコール飲み放題。

フォーラム会場から懇親会会場(帰りはJR岩見沢駅にお送りします)への送迎バスがあります。

※1. パネリストは都合により参加できない場合もあります。

※2. 事前申込制、先着25名。定員になり次第、締め切ります。会場準備等の都合上、当日キャンセル、及び懇親会への参加は出来ませんので、予めご了承下さい。

## ■ 出演者プロフィール(敬称略)



### 田中 未知子

一般社団法人瀬戸内サーカスファクトリー代表

札幌市出身。2004年、現代サーカス「ヴォヤージュ」公演の担当をきっかけにサーカスの世界に魅了され、2007年退職し渡仏。2009年、国内初の現代サーカス概説書「サーカスに逢いたい～アートになったフランスサーカス」(現代企画室刊)を出版。2010年、瀬戸内国際芸術祭の舞台芸術担当。2011年高松市に単独移住。2014年、一般社団法人瀬戸内サーカスファクトリーを設立。東京都へブレイクアーティスト審査員などをつとめる。今年6月より、EUI公認国際現代サーカスネットワーク「シルコストラダ」正規メンバー。



### ベルナル・カンタル

Bernard Quantal(俳優、馬上アクロバット)

1957年フランス、ル・アーヴル生まれ。ルーツは仏領マルティニーク。国立サーカス学校CNAC開校初年に入学。演劇のキャリアを生かし、クラウンとして才能を発揮。卒業後、騎馬オペラジンゴ馬上アクロバットで、代表作でもある作品「シメル」、「オペラ・エケストル」や、映画「マゼッパ」に出演。その馬上アクロバットの卓越した技は、いまでも伝説として語られている。現代サーカスの世界では珍しい黒人アーティストとして存在感を発揮、ジンゴロの黄金期に7年間出演する。2002年から2010年まで、国立サーカス学校CNACの教授として教鞭をとり、馬と人間のパートナーシップについて、独自のメソッドを確立、多くの生徒を育て、教育者としても尊敬を集める。カナダでは、シルク・ドゥ・ソレイユ創始者のジル・サントクロワが立ち上げた「シュバル・テアトル」の演出や、世界的に有名な騎馬スペクタクル「キャバリア」のコーチをつとめ、アメリカ、オーストラリア、ペルーなどでも指導者や芸術監督として活躍。



### ステファン・ドゥルアー

Stéphane DROUARD(空中ブランコ乗り、アクロバット)

アニメフレーター二国立サーカス学校で学び、数々の種目のアクロバット、バスキュール(※アクロバット用大型シーソー。地上10m近くまで飛び上がる)、ダンス、空中ブランコ、ワイヤー渡り、クラウン芸などを身につけ、アニメフレーターニ、シルク・ドゥ・ソレイユ、シルク・プリュム、レザッソなど、世界中で大舞台を踏む。アーティストとしてのキャリアと並行して、空中ブランコやアクロバット芸、ワイヤー渡りなどをヨーロッパ全域で指導に当たる(アレス、ローザンヌ、ネクソン、ロンドン、ブリュッセルほか)。また、ブラジルでは孤児たちが参加するサーカス学校作品制作にも参加。90年代、日本に初来日したシルク・ドゥ・ソレイユ「サルティンバノ」では主役をつとめ、最近では世界的に知られる騎馬スペクタクル「ジンゴロ」にも参加。大舞台と対照的に、伝統サーカスへのオマージュのような、笑いと愛にあふれた自身のカンパニー「シルク・アレア」も多くのファンを魅了した。今回は出演と技術指導を兼ねて来日。

## 入場無料(事前申込制・定員50名)

※懇親会は会費制

参加申し込み方法 ▶▶▶

下記「北海道アートマネジメントフォーラム2017事務局」宛で8月30日(水)までにメールにて、氏名、連絡先、懇親会参加の有無を明記の上、お申し込み下さい。折り返しメールにて入場案内、フォーラム、懇親会へのご参加の可否を返信します。

お申し込み・お問い合わせ — 北海道アートマネジメントフォーラム2017事務局 jaam18th@gmail.com